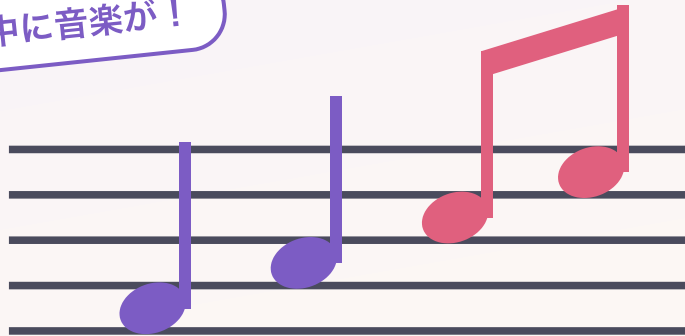


世界中に音楽が！



こんな楽器もあるんだ！

世界の民族音楽

世界には、まだ知らない音がたくさんある



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

民族音楽の入り口	3～16
世界の音を知る	17～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

民族音楽ってなに？

世界のそれぞれの土地には、そこで生まれ育った音楽があります。

民族音楽とは、それぞれの地域や民族の暮らしの中で受けつがれてきた音楽のことです。

祈りやお祝い、仕事、子育てなど、暮らしのさまざまな場面から生まれ、口伝で受けつがれてきました。今も世界中で、独自の響きが大切にされています。



世界の音楽のキーワード

独自の音階

その土地の楽器

おどりとつながり

口で伝わる歴史

楽譜に残らず、人から人へ歌や演奏で伝えられてきた音楽もたくさんあります。

ポイント

- 国や地域によって、使われる音の並び（音階）や楽器が大きくちがいます。
- 民族音楽を知ることは、その土地の暮らしや文化を知ることにもつながります。

やってみよう

1. 日本以外の国や地域の音楽で、知っているものを書いてみよう。

書いて覚えよう

- 多くの地域で、5つの音を使う「五音音階（ペンタトニック）」が使われています。
- 国や地域によって、使われる楽器や歌い方が大きく異なります。
- これから、アジアのいくつかの国や地域の音楽を見ていきます。

1. アジアの国で、行ってみたい・知りたい国はありますか。

旋律とリズムに、それぞれ決まった型があります。

raga

旋律の型。時間帯や気分によって使い分けられる

tala

リズムの型。くり返しの周期をもつ

- シタールやタブラといった、独特の音色をもつ楽器が使われます。
- 演奏者は、ラーガとターラの型の中で、即興的に演奏を広げていきます。

1. 「時間帯に合わせた音楽」があるとしたら、朝と夜でどちらがうと思いますか。

たくさんの打楽器が重なり合う、合奏音楽です。

gamelan

ジャワ島やバリ島に伝わる、金属の打楽器を中心にした合奏音楽

- ドラのような音の出る、金属製の打楽器が何種類も組み合わせられます。
- それぞれの楽器のリズムが少しずつずれて重なり、複雑な響きをつくります。
- 儀式やおどりの場面でも、大切な役目を果たしています。

1. 金属の音が重なり合う響きを、想像して書いてみよう。

書いて覚えよう

古くから伝わる楽器と、五音音階が特ちょうです。

2本の弦を弓でこすって鳴らす、もの悲しい音色の
楽器

指ではじいて鳴らす、なし形の弦楽器

ポイント

- 長い歴史をもつ楽器が、今も受けつがれ演奏されています。
- 五音音階が使われることが多く、日本の音楽にも通じる響きがあります。

やってみよう

1. 2つの楽器のうち、聴いてみたいのはどちらですか。

書いて覚えよう

pansori

jangdan

細やかな音の動きが特ちょうの音楽です。

oud

洋ナシのような形をした、指ではじく弦楽器

maqam

中東の音楽で使われる、旋律の型

- 半音よりさらに細かい、微妙な音の高さの動きが使われることがあります。
- 太鼓（ドラブッカなど）のリズムに合わせて、旋律が自由に装飾されます。

1. 「細やかな音の動き」を声で表すとしたら、どんな声を出しますか。

リズムを重ね合わせることを大切にする音楽文化です。

djembe

ポイント

- やってみよう

- 書いて覚えよう

- 季節の行事や、羊飼いの仕事、恋の物語などが歌になっています。
- 地方によって、言葉も旋律もリズムも大きく異なります。
- 山あいの地域では、声をこだまさせるように歌う独特の歌い方もあります。

1. 日本の民謡を1つ、知っているだけ書いてみよう。

アイルランドの音楽

おどりのための、軽やかな旋律が特ちょうです。

フィドル

fiddle

バイオリンと同じ形の、民族音楽用の弦楽器

ボーラン

bodhrán

片面に皮を張った、手でたたく太鼓

ポイント

- 「ジグ」「リール」とよばれる、おどりのためのはずむ旋律が数多くあります。
- パブ（食堂）などで、みんなで演奏を楽しむ文化も根づいています。

やってみよう

1. 軽やかで速い旋律を聴くと、どんな気持ちになりますか。

書いて覚えよう

スペインのフラメンコ

歌・ギター・おどりが一体になった、情熱的な芸能です。

フラメンコ

flamenco

スペイン南部で生まれた、歌・ギター・おどりが一体になった芸能

ポイント

- 歌い手の力強い歌声と、ギターの複雑なリズムが特ちょうです。
- 手拍子（パルマ）と足踏みが、リズムの一部として重要な役目を果たします。

やってみよう

1. 手拍子で、強い・弱いを交えたリズムをつくってみよう。

書いて覚えよう

中南米の音楽

陽気なリズムとおどりが結びついた音楽が多くあります。

ポイント

- 先住民・ヨーロッパ・アフリカの文化が混じり合って生まれた音楽が多くあります。
- マラカスやマリンバなど、打楽器の種類が豊かなことも特ちょうです。
- おどりと音楽が強く結びつき、体を動かしながら楽しむ文化があります。

やってみよう

1. 体を動かしたくなるリズムに合わせて、足踏みしてみよう。

書いて覚えよう

hula

haka

世界の歌い方

国によって、声の出し方にも大きなちがいがあります。

ホーミ（喉歌）

throat singing

モンゴルなどに伝わる、1人で同時に2つの高さの音を出す歌い方

ポイント

- ヨーロッパの山岳地帯には、声をひっくり返すように歌う歌い方もあります。
- 同じ「歌う」でも、地域によって声の出し方や魅力の感じ方がちがいます。

やってみよう

1. いつもとちがう声の出し方を、1つ試してみよう。

書いて覚えよう

世界の楽器めぐり

世界には、見たことのない楽器がまだまだあります。

シタール

インドの弦楽器。複雑にからみ合う響きが特ちょう

ガムラン楽器

インドネシアの、金属の打楽器のなか
ま

ジェンベ

アフリカの、手でたたく太鼓

フィドル

アイランドの、バイオリンに似た弦
楽器

ウード

中東の、洋ナシ形の弦楽器

マリンバ

中南米などで使われる、木琴のなかま

ポイント

- どの楽器も、その土地の暮らしや音楽の中から生まれてきました。
- 見た目や音色のちがいを知ると、聴く楽しみが大きく広がります。

やってみよう

1. 6つの楽器のうち、実際に見てみたいのはどれですか。

書いて覚えよう

音楽を聴くことは、その土地の文化を知る入り口です。

- 使われる音階や楽器から、その土地の気候や暮らし方が見えてくることがあります。
- 言葉がわからなくても、音楽を通じてその土地の空気を感じることができます。
- 世界の音楽を聴く旅に、決まった順番や正解はありません。



Emma



1. これから聴いてみたい、世界の音楽を1つえらぼう。

20

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

リズムを重ねる感覚を、体で体験してみよう。

A (一定のリズムで) タン・タン・タン・タンと手をたたく

B (別のリズムを重ねる) タタン・タタン・タタンとたたく

A (続ける) リズムを保つ

B (合わせて) _____

A (歌う) 好きな旋律を短く歌う

B (こたえる) _____

ポイント

- Aのリズムに、Bがちがうリズムを重ねる「ポリリズム」の遊びです。
- アフリカの太鼓の合奏に近い感覚を、手拍子で体験できます。

ワンポイント はじめはズレても大丈夫。何度もくり返すうちに重なりが心地よくなっていきます。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

聴きなれない音楽も、コツをつかめば楽しめます。

つまずき

よくあること

旋律が耳に入ってくるにくい

聴きなれた音階とちがう

リズムがつかめない

複雑に感じる

コツ

こうしてみよう

何度もくり返し聴く

少しずつ耳が慣れる

まず1つの楽器の音に注目する

全部を一度に聴こうとしない

ポイント

- 「わかりにくい」と感じるのは、聴きなれていないだけのこともよくあります。
- 何度か聴くうちに、その土地らしい心地よさが感じられるようになります。

やってみよう

1. 聴きなれない音楽を1つ選び、3回くり返し聴いてみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

アジア

☐ ラーガ

インドの旋律の型

☐ ガムラン

インドネシアの金属打楽器の合奏

☐ パンソリ

韓国の物語を歌う伝統芸能

アフリカ・中東

☐ ジェンベ

アフリカの手でたたく太鼓

☐ ウード

中東の弦楽器

ヨーロッパ

☐ フィドル

アイルランドの弦楽器

☐ フラメンコ

スペインの歌・ギター・おどり

歌い方

☐ ホーミー

1人で2つの高さの音を同時に出す歌い方

☐ コール・アンド・レスポンス

歌いかけとこたえの歌い方

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、世界の音楽がもっと身近に感じられます。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|-------|---|--------------------------|
| ガムラン | ● | ● ア. 韓国の物語を歌う伝統芸能 |
| ジェンベ | ● | ● イ. インドネシアの金属打楽器の合奏 |
| フラメンコ | ● | ● ウ. アフリカの手でたたく太鼓 |
| ホーミー | ● | ● エ. スペインの歌・ギター・おどり |
| パンソリ | ● | ● オ. 1人で2つの高さの音を同時に出す歌い方 |

2. 世界の楽器を3つ書こう

1. _____
2. _____
3. _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. インドネシアの金属打楽器の合奏 → (ガムラン / フラメンコ)
2. スペイン南部で生まれた歌・ギター・おどり → (フラメンコ / ハカ)

書いて覚えよう

世界の音楽を1曲、聴いて1日をスタート

知らない国の音楽を1つ探してみる

ちがうリズムを両手で重ねてみる

気に入った地域を1つ書き出す

聴いた音楽の感想をノートに書く

家族に世界の楽器を1つ紹介する

ポイント

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。
- 同じ地域の音楽を続けて聴くと、その土地らしさが見えてきます。

書いて覚えよう

発表してみよう・感想を書こう

気に入った世界の音楽を、人に伝えてみよう。

音楽・地域

使われている楽器

好きなところ

感じたこと

聴いてほしい人

Emma の例

音楽・地域 インドネシアのガムラン／使われている楽器 金属の打楽器／好きなところ 音が重なる不思議な響き／感じたこと お祭りのような高ようかん／聴いてほしい人 打楽器が好きな友だち

感想を3文で書こう

① この音楽は、～な感じがしました。② とくに、～のところが印象に残りました。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

世界の音楽の旅は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

動画で

各国の演奏映像をじっくり見る

図書館で

世界の音楽の本を借りてみる

博物館で

世界の楽器を実際に見る

次のステップ

感想を言葉にする

聴いた音楽を言葉で表す力をつける

楽器

気になる楽器を体験してみる

日本の音楽

自分の国の音楽を深く知る

ポイント

- この教材の次は「感想を言葉にする」。音楽の感じ方を、言葉で表す力を育てます。

書いて覚えよう

世界の民族音楽チャレンジ

教室の外でも、世界の音楽はすぐに楽しめます。

見つけよう

知らない国の音楽を1曲さがす

聴こう

その国の楽器の音に耳をすませる

表そう

その音楽のリズムを手拍子でまねてみる

こたえ

L26 ガムラン→イ ジェンベ→ウ フラメンコ→エ ホーミー→オ パンソリーア 2. ガムラン / ジェンベ / フィドル (例) 3. ガムラン / フラメンコ

L33 (例) 世界の民族音楽は、それぞれの土地の暮らしと結びついて生まれ育った音楽。

書いて覚えよう

世界の民族音楽 (Season 6 | No.59)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。